## 伊賀市立桃青の丘幼稚園だより

たよう しゅたいせい かんよう きょういく ~多様な主体性を涵養する教育~





今月は、夏ならではの遊びや活動を満喫しました。様々な経験をしていく中で自ら進んで遊びを選んだり、野菜の収穫をして仲間とともに「お料理をしてほしいです。」と伝えに来たりする姿が見られました。また、友だちと同じ体験を繰り返してきた喜びが積み重なり、クラスの団結力が深まったように感じます。「一緒に野菜を持って行ってお料理してもらおう!」と相談しあう様子が見られたり、「~ちゃん、一緒に雨が降っているか見に行こう!」と誘い合う姿も増えたりしました。友だち同士のかかわりが深まり、互いに成長しあう姿が本当にうれしく思いました。

## 達成感や成功体験につながる体験活動の充実を図る ~クラスを超えたかかわりの中で

夏の体験のひとつで「七夕会」を楽しみました。他学年の工夫した笹飾りや合奏に 気づいたり、自分たちで制作した飾りを認めてもらったりする貴重な集いとなりました。 教師の言葉掛けで友だちの姿や思いにふれる経験をしました。それぞれの学年が自 分の思いを言葉にしたり、身振り手振りをしたりして伝えることを体験しました。

自分の笹に飾る 【3歳児】



共通の笹に飾る【3歳児】



七夕探検に行く【4歳児】





笹のお届けをする【5歳児】

3歳児は、想像力をふくらませながら七夕の飾りを制作しました。毎日の制作が楽しくて仕方がない様子でした。「せんせい見て!つながった!」と飾りが出来上がるたびに達成感を味わうことができました。この経験をこれからも積みあげていきたいと思います。

4歳児は、日頃から絵本が大好きです。ひこぼしさん、おりひめさんの得意な 仕事があることや、いつの頃からか仕事をしなくなってしまった、という物語を 自分の生活と重ねて楽しむ様子が見られました。「お片付けしないと、きっと会 えなくなってしまうかも。」と友だち同士で話をしていました。

また、少し難しい制作にも挑戦しました。手先を駆使することを目的のひとつに もち、少しずつ笹飾り制作を進めました。

5歳児は、自分から進んで短冊に願い事を書いたり、細かく切り込みを入れたりして天の川を表現しました。その願い事の中には、自分のことだけではなく家族の思いが書かれていました。

年長組は、七夕の夜空をイメージして「ハンドベル演奏」に挑戦しました。楽 器の正しい使い方を覚え、優しいキラキラ星のメロディーを奏でました。

クラスを超えて、七夕ふれあい遊びやダンスをしました。5歳児・4歳児にリードしてもらい3歳児も一緒に楽しみました。毎日のかかわりの中で友だちが増えて、一緒に手をつないで登園するようにもなりました。「~ちゃんは、何組なの?」と興味も深まり、異年齢のつながりが広がっています。素敵な姿ですね。

## 幼児が自己を発揮し、教師や他の幼児に認められる体験を ~自分の良さに気づき自信をもって行動できるように~



ふれあい遊び【全園児】

一人一人が集団の中の一員として認められるよう全職員が幼児の心に響く言葉掛 けを心掛けてきました。毎日のかかわりの中で幼児は互いを大切にする姿勢を身に 付けてきたように思います。これらは、やがて心のつながりをもった温かい集団をつく り出すことにつながると考えます。

幼児は、集団の生活を通して、相互に影響し合い、育ち合っていきます。一人一人が 成功体験を重ね自信をもって行動できるように育っていってほしいと願っています。

様々な体験を重ねるには、教育環境を工夫し、整えることが第一です。日頃から教師 は、環境づくりを研究しながら教育に携わっています。また、保護者の方におかれまし ても、園の教育に携わってくださっている方がたくさんいらっしゃいます。 じゃんけんぽい!

1学期の間も多大なご尽力を賜りまして、ありがとうございました。



今年度は、新しいサークルが新たに2つ立ち上がりました。「幼稚園教育を考える ももっこ応援団」では、幼稚園教育を受ける上で良かったと感じる思いを集約してく ださいました。これらをまとめて次世代に向けて園と一緒に発信していきます。

もうひとつは、「えんのむし」サークルです。私も少しですがお手伝いさせてもらっ ています。もうすぐ大型虫かごが完成する予定でワクワクしています。

また、こまめに活動をされている役員様や各部の皆様、そして各サークルの活動 が展開されています。園教育と同じ志をもって取り組まれている姿に感激していま



笑顔の素敵なエコサークルの

みなさん

7月誕生日会で活躍

ふぇり~すクラブさん

文責 まつなが あい

あさがおイラスト: あかねさん